

為^なせば成^なる
(上杉鷹山^{うえすぎようざん})

為^なせば 成^なる 為^なさねば 成^ならぬ 何^{なに}事^{ごと}も

成^ならぬは 人^{ひと}の 為^なさぬ なりけり

解説 上杉鷹山が瀕死の米沢藩を立て直す際に、藩の武士階級や藩民に対し立て直しの心構えについて説いた有名な言葉である。ケネディー大統領は座右の銘にしていたらしい。この言葉をケネディー大統領が知っていたことにも驚く。

語釈 ※為せば成る＝何事も強い気持ちでやり通せば、必ず達成できる。

通釈 できそうもないどんなことであっても、強い意志を持ってやり通せば必ず実現できる。結果が得られないのは成し遂げようと思つて行動しないからだ。